

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 26-002

PDCA	事務事業名	計画的修繕等整備事業	部課等名	建設部 建築課 住宅施設 担当	担当	内線等	
					深見	462	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第2節 都市基盤の整備					
		基本施策： 2. 住宅・住環境整備					
		単位施策： (2) 住宅セーフティネットの維持					
	根拠法令等	個別施策： ①住宅困窮者への供給維持					
	対象・目的	平成16年度から30年間の修繕計画に基づき、市営住宅の修繕及び改修を行うことで施設の長寿命化及び安全・安心な環境保持に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	修繕計画に基づき、単年度毎の予定事業を予算化し、年度内工期と施工管理の徹底を図り、事業を完了させる。また、現場の状況を常に把握し、必要な修繕・改修を計画して行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①外壁改修・屋根・屋上防水改修工事(各棟数)	2	2	0	件	
		②受水槽改修工事(棟数)	0	0	1	件	
		③高齢者対応外階段手摺設置工事(棟数)	0	0	0	件	
		事業費	32,723	23,760	4,740	千円	
		人件費	3,173	4,997	4,658	千円	
		総事業費	35,896	28,757	9,398	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①対象住宅1棟あたりの改修費	17,948	14,379	9,398	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
①計画的修繕・整備の進捗率		実績値	51.5	56.0	57.3	%	
		目標値	51.5	56.0	58.4		
		実績値					
		目標値					
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	B 今後の市営住宅の需要の変化を踏まえ、令和元年度に市営住宅長寿命化計画を改定し、今までの修繕・整備の計画を見直しするとともに、管理戸数の減少のための用途廃止を踏まえ工事を実施し、入居者の安全安心な環境保持を図った。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 見直しした修繕計画をもとに、計画的・効率的な工事施工、維持管理を行うことにより安全安心な住環境の保持・供給を図る。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①計画的修繕・整備の進捗率			59.8	%	